**大阪の成長戦略の改訂について**

■　改訂の理由

　　「大阪の成長戦略」で成長目標の一つに掲げる「来阪外国人」（2020年に650万人）について、2016年11月に「大阪都市魅力創造戦略2020」が改訂されたことから、目標値及びその目標達成のための施策展開の方向性や具体的取組等を改訂しました。

■　改訂箇所

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ページ数 | 改訂前 | 改訂後 |
| ４ページ | 大阪・関西がめざすべき姿　～成長目標～  ○来阪外国人　　2020年に年間650万人が大阪に  ◇国の訪日外国人の目標（2020年初めまでに2500万人）の26％ | 大阪・関西がめざすべき姿　～成長目標～  ○来阪外国人　　2020年に年間**1,300万人**が大阪に  ◇**国目標(4,000万人へ倍増)にあわせ、これまでの目標650万人の2倍に設定(大阪都市魅力創造戦略2020より）**  ※　これまでの実績値も更新しています。 |
| ５ページ | 成長に向けた課題、施策展開の方向性　～５つの源泉毎の方向性～  1.内外の集客力強化  シンボルイヤーの取組み（大坂の陣400年天下一祭等）などを通じた、府域全域での都市魅力アップ | 成長に向けた課題、施策展開の方向性　～５つの源泉毎の方向性～  1.内外の集客力強化  **大阪全体の都市魅力の発展・進化・発信、文化・スポーツを活かした都市魅力の創出、観光客の受入環境整備** |
| ８ページ | １．内外の集客力強化  （１）　世界的な創造都市、国際エンターテイメント都市の創出  【方向性】  このため、大阪都市魅力創造戦略の計画最終年度である2015年をシンボルイヤーとして都市魅力創造施策の結集を図る。 | １．内外の集客力強化  （１）　世界的な創造都市、国際エンターテイメント都市の創出  【方向性】  **削除** |
|  | ～2015年をキックオフの年と位置付け、2020年に向けてオール大阪が連携し、都市魅力の創造を戦略的に展開する。 | ～　　　　　　　　　　　　　　　　　2020年に向けてオール大阪が連携し、**魅力あふれるまちづくりや観光資源づくり、効果的な府域への誘客、文化・スポーツを活かした都市魅力創出**を戦略的に展開する。 |
| ページ数 | 改訂前 | 改訂後 |
| ８ページ | 【具体的取組】  ◇2020年に向けた都市魅力創造  　（2015年シンボルイヤーの取組、民間主体の集客プロジェクト　等） | 【具体的取組】  **削除** |
|  | ◇大阪における観光資源の強化、都市魅力の向上  　（百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録に向けた取組の強化、大阪城公園パークマネジメント事業の導入等による大阪城公園の魅力向上、大阪ミュージアム構想の展開、「水都大阪」の特徴を活かした水と光のまちづくりによる経済活性化、公共空間を活用した都市魅力の向上　等） | ◇大阪における観光資源の強化、都市魅力の向上  　（百舌鳥・古市古墳群の**魅力創出**、大阪城公園パークマネジメント事業の**推進**等による大阪城公園の**新たな**魅力向上、**天王寺公園・動物園の魅力向上**、大阪ミュージアムの**推進**、「水都大阪」の特徴を活かした水と光のまちづくり**の推進**、**ナイトライフカルチャーの発掘・創出**、**国際的なスポーツイベントの開催**、**大阪文化の魅力発信**　等） |
|  | ◇万博記念公園南側ゾーンへの複合型エンターテイメント施設の立地 | ◇万博記念公園**の魅力創出** |
| ９ページ | １．内外の集客力強化  （３）　関西観光ポータル化の推進  【方向性】 | １．内外の集客力強化  （３）　関西観光ポータル化の推進  【方向性】  ～**また、観光客の急増に合わせ、国内外の観光客の受入環境整備に取り組む。** |
|  | 【具体的取組】  ◇観光情報を入手するためのインターネット接続環境整備  (大阪観光局によるOsaka Free Wi-Fi等) | 【具体的取組】  ◇**観光客受入環境整備**  (**Wi-Fi設置の拡充や宿泊施設等での旅行者の利便性向上**、**観光案内機能の強化**、**インバウンドの受入環境の整備**　等） |